

施策評価シート(令和6年度実施施策)

総合計画 体系	政策No.	3	政策名	健やかで人にやさしいまちづくり	施策主管課	健康ふくし課
	施策No.	3-5	施策名	支えあい尊重される社会の実現	施策主管 課長名	渡部 朋宏
関係課	政策財政課 町民税務課 健康ふくし課					

1. 施策の目的

対象	A 地域・事業所	意図	A あらゆる人権が尊重され多様な人々が共生している
	B 事業所		B 男女共同参画推進まちづくり行動計画を理解し、男女がともに働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる

2. 成果指標

指標名	単位	現状値	上段：目標値		下段：実績値	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
① A 必要な時に隣近所や地域で支えあって生活している町民の割合（増加）（現状値：H28-30平均）	%	73.6	74.1	74.6	75.1	75.6
② B 男女共同参画推進まちづくり行動計画を知っている事業所の割合（増加）（現状値：H30時点）	%	36.7	40	40.7	41.3	41.8
③			69.2	68.9	70.2	63.1
④			46.7	53.2	34	37.1

3. 指標の分析（成果が向上した、またはしなかった理由）

①	前年度比7.1ポイント減少し、目標値を12.5ポイント下回った。「支えあいはない」と回答した割合も前年度比6.1ポイント増加しており、少子高齢化や人口減少等の影響により、地域での支えあい意識の希薄化が進んでいると思われる。
②	対前年度比3.1ポイント増加したものの、目標値を4.7ポイント下回った。町内の主要な事業所へのアンケートによる数値を指標としており、アンケートの際に、啓発用のチラシ等を同封しているが男女共同参画の意義や制度の趣旨が十分には浸透していないと考えられる。
③	
④	

4. 課題に対する取組（今年度重点的に取り組んだ課題）

・会津権利擁護・成年後見センターが中心となり、成年後見制度の利用促進と円滑な制度運用ができる体制づくりに努めた。また、虐待の防止及び早期発見のため、関係機関と情報共有を行い支援体制の強化を図った。 ・小中学校等での人権教室や人権の花運動、企業訪問、施設訪問、街頭啓発活動等を実施し、人権尊重の理念の普及を図った。 ・男女共同参画推進の取組として、児童・生徒を対象とした川柳コンクール及び「人口減少・少子化と女性活躍」をテーマとした講演会を実施した。
--

5. 次年度の方向性（施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題）

虐待防止ネットワーク及び地域見守りネットワーク、会津権利擁護・成年後見センターを活用し、虐待等の防止及び早期発見並びに適切な支援を行えるよう体制整備を進める。また、人権教室や街頭啓発活動を実施し、人権尊重の啓発活動に取り組む。さらに、性別による偏見・先入観を持たないようにするには幼少期からの取組が重要であるため、引き続き児童・生徒を対象とした川柳コンクールを実施するとともに、町内事業所への啓発活動の強化に努めていく。
--

6. 施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和6年度決算額 (千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	4164	ふれあいセンター維持管理事業	11,132	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
2	4888	男女共同参画推進事業	182	拡充	現状維持	②生産性改善	○
3	5738	地域福祉団体支援事業	20,040	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
4	5851	地域福祉計画管理事業	0	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
5	5884	総合福祉支援事業	100,338	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
6	17342	人権普及啓発事業	82	現状維持	現状維持	⑤現状維持	